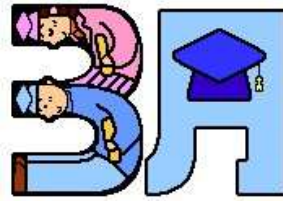


# 少年

第456号(1) 令和6年3月(弥生)発行



山梨県警察本部  
生活安全部 少年・女性安全対策課  
甲府市丸の内1-6-1  
055-221-0110 内線3082  
少年対策官 北原宏明

## 一度きりの人生だから・・・

### 「一期一会」

“出会いがあれば別れがある。”“始まりがあれば終わりがある。”共に笑い、時にはけんかした友や同僚と別れ、4月からは別々の場所で生きていく・・・。3月はそんなことを強く感じるさみしい時期でもある。

“出会いがあれば別れがある。”“始まりがあれば終わりがある。”これはこの世に生きる全ての生き物の摂理だ。当然、人間もそうだ。どれだけ地位が高い人でも、お金持ちの人でも人生は一度きりである。人は生まれたらいつかは命が尽きる。そして愛する人ともいつかは永遠の別れをしなくてはならない。この世で死なない人は一人もいない。

“出会いがあれば別れがある。”“始まりがあれば終わりがある。”この当たり前のことを私たちは十分に理解しながらも、戦争もなく医療も発達した平和なこの国で自分の死や寿命について、さほど意識することなく日々を送っている。

“出会いがあれば別れがある。”“始まりがあれば終わりがある。”少し立ち止まって、限りある人生をこれからどのように生きていくかを考える機会をつくってみてはどうだろうか。節目となる3月は、そんなことを考えるのによい時期かもしれない。

では、限りある人生をこれからどのように生きていくのが正しいか？おそらくそれに対する明確な答えなどないだろう。ただ、二度とない人生である。後悔のない人生を送りたいものだ。

「一期一会」ということはを耳にしたことがあるだろうか。「一期一会」とは、茶道において重要な概念であり、「一度きりの出会いや瞬間を大切に作る心構え」を表すことばである。これは何も茶道に限ったことではなく、私たちの普段の生活にも当てはまることである。毎日、「一期一会」を意識して生活することはできないだろうが、これから迎える4月に新たな人と出会った時、音楽や絵画といった芸術と出会った時、旅先で海や山、動植物といった自然と出会った時、「一期一会」ということばを思い出してみてもどうだろうか。人生の一瞬一瞬を大切に後悔のない人生を歩もう。一度きりの人生なのだから。

### つまづいたって いいじゃないか

では、人は永遠の命を手に入れば幸せになれるのだろうか？私は少年の頃、松本零士の「銀河鉄道999」を読み、そのことについて考えさせられた。「銀河鉄道999」は主人公の星野鉄郎が無料で永遠の命（機械の体）を手に入れることができる星へ行くためにメーテルと999号に乗車して宇宙を旅する物語である。その旅の途中で様々な人と出会い、鉄郎は限りある命（生身の体）で生きることの意義や素晴らしさに気づき、永遠の命を手に入すべきかどうか葛藤しながら旅を続けていく様子が描かれている。確かに、人は永遠の命を手に入れば人生の残り時間を気にしたり、死の恐怖を感じたりすることなく生活できるようになる。しかし、人生は限りがあるからこそ価値があり、尊いものなのではないだろうか。

私が高校生の時、こんなことを言った先生がいた。「自分の人生の残りがあと何年あるかがわかる時計があれば、人はもっと真剣に生きるだろう」と。そんな時計があったら、確かに限りある人生を今以上に真剣に生きることができようと思ったのと同時に、「人生は一度きりの尊いものなのだから大切にしないで」と誓ったのを今でも鮮明に覚えている。

しかし、そんな限りある一度きりの人生は、山あり谷ありで順風満帆にはいかないものだ。時には、つまづき、もがき苦しむこともあるだろう。でも、それも人生だ。そんな時には、ぜひこの詩を思い出してほしい。

### つまづいたって いいじゃないか にんげんだもの

これは相田みつをの詩である。つまづくことは誰にでもあることで、決して悪いことではない。でも、つまづいたままではいけない。つまづいてしまったら多少時間がかかっても立ち上がろう。うまくいかなくても諦めずに繰り返し挑戦し続けていけば、いつかはうまくいく時が来るかもしれない。沈んでも翌日には昇る太陽のように、散っても翌年の春には咲く桜の花のように、つまづいたって諦めずに何度でも立ち上がり、後悔のない人生を歩もう。一度きりの人生なのだから。

発行番号は昭和61年初号からの通算番号です。

[https://www.pref.yamanashi.jp/police/p\\_syonen/shonenkoho.html](https://www.pref.yamanashi.jp/police/p_syonen/shonenkoho.html)

## 春休みの少年非行防止に努めよう



卒業、進級、進学、就職……「春休み」は、少年の生活環境が大きく変わる時である。新しい生活への期待感、不安感、そして開放感が交錯する中、ともすると生活のリズムが乱れがちになる。飲酒、喫煙等の不良行為、さらにはSNS利用によって被害に遭う少年も少なくない。家庭、学校、地域が連携し、少年の非行等の防止に向けた取組を推進していきましょう。

### 【家庭で】

- 規則的な生活習慣
- 小さな変化を見逃さない
- 子供との会話（一家団欒）
- 学校からの注意事項の確認
- スマホに振り回されないルールづくり

### 【学校で】

- 不良行為防止のための事前指導
- 家庭及び関係機関との連携
- ネットモラル、マナーに関する指導

### 【地域で】

- あいさつ運動
- 安全に関わる情報を共有し、迅速な対応
- 関係機関と協力し、有害環境の浄化

## 「春のあんしんネット・新学期一斉行動」 令和6年2～5月 実施

多くの少年が初めてスマートフォン等を手にする、春の卒業・進級・入学の時期（2～5月）に特に重点を置き、県や市町村、関係団体が連携、協力し、「春のあんしんネット・新学期一斉行動」として、スマートフォンやSNS等の安全・安心な利用のための啓発活動等の取組を集中的に展開している。

ペアレンタルコントロールの普及促進（フィルタリングの利用や話し合いによる家庭内ルール作り等）や少年がインターネットを適切に活用する能力の向上に重点を置いて諸活動を推進することとしている。皆様のご協力をお願いいたします。



## 保護者が知っておきたい4つの大切なポイント

### Point① 時間の長さだけではなく中身に着目

何にどのくらい利用しているのかを、一緒に確認しましょう



学校では一人一台端末となり、学習でのタブレットの活用が増えたため子供のインターネット利用時間はより一層長くなっている。「いつまでやってるの!？」と頭ごなしに叱らず、子供がどんな使い方しているのか、時間だけではなく、内容を把握することが大切である。

### Point② ゲームプレイは“個”から“グループ”へ

保護者と一緒にプレイしなくなる時期こそ、しっかり見守る

一人でリアルな友達と、ネット上のグループで協力しながらなど、ゲームには多様な遊び方がある。高額課金やID乗っ取り等のトラブルだけではなく、誘う・誘われない、アイテムをもらった・もらわなくてもめたり、一人抜けできず長時間プレイになったりといったことも生じている。また、プレイ中のチャットや音声でのやり取りから、個人情報が出たり、誘い出しのきっかけになってしまうこともある。保護者は子供がどんなゲームをしているか知っておくとともに、対象年齢に達しているかを確認したり、スマホやゲーム機のペアレンタルコントロール機能を活用したりして、子供の安全利用を見守ることが大切である。



### Point③ SNS等でのいじめや誹謗中傷、どう対処すべき?

相談しやすい親子関係をつくり、話ほじっくり聞いてあげる

子供が一人で悩みを抱えないためにも、普段から「困ったら何でも相談にのるよ」と声をかけましょう。そうすることで子供は相談しやすくなります。

相談されたときには、子供の話をじっくり聞いてあげてください。保護者が大騒ぎしてしまうと、相談しにくくなってしまいます。じっくり聞いたうえで「どうしたい?」と聞いてあげましょう。



### Point④ 動画や写真は危険がいっぱい

動画や写真の投稿で注意すること

面白がって撮ったり、友人・知人の情報が含まれるものを投稿することで、不快感やトラブルを生むこともある。どんな投稿がトラブル原因になるか親子で考えてみましょう。

写真や動画の投稿サービスやアプリの多くは中学生以上が対象。年齢に満たない子供の投稿は、保護者のアカウントと一緒に行うようにしてください。



**フィルタリングは必ず設定しましょう!!**

SNS上で被害に遭った児童の約9割が、被害時にフィルタリングを利用していません。フィルタリングには子供の年齢等に応じて利用時間を設定したり、アプリケーションの利用を個別に許可または制限することができる機能がある。携帯電話機だけではなく、タブレットや携帯ゲーム機等の子供が利用する機器に応じた適切な管理も重要である。子供に携帯電話機等を持たせる場合は子供を犯罪から守るためにも保護者の皆様が積極的にフィルタリングの設定をしてあげましょう。